

# 基本計画

基本計画では、基本構想をふまえ、その実現に向けた基本的な方向性となる分野別施策と、その中でも特に重点的・分野横断的に取り組む必要のある重点施策、また、特色を生かした地域づくりを進める地域振興施策を位置付けます。

# 第1章 重点プロジェクト～未来を創る希望プロジェクト～

## 《岩泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略》

本町ではこれまで、「明日を切り拓く戦略」を掲げ、6つの「新たな伝説創造プロジェクト」を重点的かつ戦略的に進めてきました。

また、「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）」第10条の規定に基づき策定した岩泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少対策に特化した計画として、人口の将来展望の視点を踏まえることや、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を維持する「まち・ひと・しごと」の創生に資する施策を重点的に推進してきました。

これらの取組により、一定の成果をあげてきましたが、三度の大地震に見舞われたこともあり、引き続き、総合的な人口減少対策に取り組んでいく必要があります。

重点プロジェクトは、まちの将来像や基本目標の実現を着実に実行し、台風災害からの復旧復興を最優先課題としながら、人口減少の抑制による希望あるまちづくりを推進することができるように、そして、町民すべてが生涯活躍できるまちを目指すため、限られた財源や人材を有効に活用し、基本計画の中でも、特に重点的・分野横断的な取組を位置付けます。

### 〈SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた取組の推進〉

また、経済・社会・環境の様々な課題を総合的に解決し、持続可能な社会を目指すSDGsの推進につながる取組が、国、自治体、企業等で始まっています。このSDGsの考え方や取組は、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域の維持と軌を一にするものであり、本重点プロジェクトでは、SDGsの理念や17の持続可能な開発目標を踏まえながら事業展開します。

### 〈最先端技術を活用した取組の推進〉

IoTやAI、ビッグデータ、5G等の科学技術を活用した超スマート社会 Society 5.0の実現に向けた技術は、生産性や生活の利便性を飛躍的に高めることが期待されており、少子高齢化・人口減少がより進んでいる本町の課題解決の有効な手段となることが期待されることから、このような先端技術を活用した事業展開を行います。

このような状況を踏まえながら、重点プロジェクトでは、岩泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略を兼ね備えたものとし、6つの重点プロジェクト～未来を創る希望プロジェクト～を展開していきます。

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 重点プロジェクト1 | 台風災害からの復旧復興     |
| 重点プロジェクト2 | 魅力ある居住環境の整備     |
| 重点プロジェクト3 | 結婚・出産・子育て環境の充実  |
| 重点プロジェクト4 | 関係人口の拡大         |
| 重点プロジェクト5 | 産業の強化による働く環境の充実 |
| 重点プロジェクト6 | 持続する集落形成        |

## 重点プロジェクト 1 台風災害からの復旧復興

平成28年の台風第10号豪雨災害など激甚災害からの復旧復興は、本町の最優先課題となっていることから、地域住民が互いに協力し合い絆を深める地域コミュニティの形成や、町民誰もが安心して暮らせる防災体制の強化、町の活気を生み出す産業振興など、平成30年に策定した「岩泉町災害復興まちづくり計画」の理念や目標、復興の柱などを基本とした事業の推進を図ります。

目標値：平成28年台風第10号豪雨災害復旧復興予算：0円（令和4年）

### Project 1-1 集落の形成

住宅再建や社会生活基盤の復旧の取組だけではなく、人口減少の中で、各集落がこれまでのようにつながりの強いコミュニティを維持していくために、コミュニティの拠点となる集会所等の整備や地域づくり活動に対する支援を継続しながら、町民自らの個性や自主性を生かした活動を支援していく取組を進めるとともに、地域医療・福祉体制の充実や少子高齢化に対応した公共交通の充実に努めます。

また、復興を経て新たな魅力を持つ町へと変わっていくことで、町民の定住意向を強くするとともに、町外からの移住意向を持つ人々を増やすため、移住・定住意向を持つ人たちへの相談・支援体制の強化や、多様なニーズに応じた居住環境の整備に努めます。

### Project 1-2 防災体制の強化

本町のように分散した集落においては、緊急時の情報収集や伝達が何より重要となることから、多様な情報通信施設の活用や防災士の育成により、災害時に迅速に対応できる体制の構築に努めるとともに、緊急時に迅速に要援護者の避難体制を確保できるよう、避難行動要支援者に対する個別の避難プランの作成等を進めます。

また、万一災害が起きた場合に備え、避難所等における災害用備品や非常食等の備蓄を充実し、地域防災力の向上を図ります。

### Project 1-3 産業経済の再生

人口減少を抑えるためには、住む場所だけではなく働く場所も重要となることから、基幹産業である農林水産業の生産体制の強化をはじめ、中小企業の経営支援等を進めます。また、生産力そのものの向上と併せて、地場製品の付加価値の向上や新たな特産品開発に努めます。

さらに、本町の豊かな地域資源を生かした観光や交流が、産業経済の大きな役割を担っていることから、集客力の高い龍泉洞の魅力度向上を図り、広域連携による観光客の誘客に努めるとともに、近年増加傾向にある訪日外国人をはじめ、あらゆる人が満足する受け入れ体制の構築に努めます。

## 重点プロジェクト2 魅力ある居住環境の整備

良質な居住環境は、生活の根幹であり、定住を検討するうえでも重要な要素となります。人口減少が進む中で、町内外を問わず、特に若い人や単身者が、住宅や宅地を容易に取得できる環境づくりに取り組みます。

目標値：住宅新築戸数：67戸（令和2年から令和4年までの累計）



### Project 2-1 町営住宅の入居しやすい環境づくり

町営住宅については、老朽化が進んでおり社会福祉の需要に見合った、良質で安全な公営住宅の供給に努める必要があります。また、町外からの移住や町内への定住を促進するために、子育て世代や単身者などが入居できるよう要件等の緩和を行います。

### Project 2-2 空き家・空き地バンクの充実

既存ストック住宅の活用や空き家等の対策を通じ、良好な住宅・宅地の供給や住環境づくりに取り組みます。また、空き家・空き地バンクの利用促進や事業者等との連携により、空き家の利活用の啓発に努めるとともに、空き家等対策計画による危険な空き家等の対策を行い、地域の安全な居住環境の整備に取り組みます。

### Project 2-3 多様なニーズに対応した宅地と住宅の供給

移住や定住の取組を進めるうえでは、住まいの確保が重要であることから、子育て世代や都市部からの移住者等が持つ多様なニーズに対応できるように、魅力的な居住環境を整備し、本町への移住や定住を促進します。

## 重点プロジェクト3 結婚・出産・子育て環境の充実

少子化の時代の中で、まちの活力を持続的に維持し、活性化していくため、若者や子育て世代が岩泉町での生活を選択し、未来を担う子どもたちを健康で安心して産み育てられる環境づくりを進めます。

目標値：合計特殊出生率：1.91%（平成29年）⇒2.07%（令和4年）



### Project 3-1 様々な事情に配慮し地域資源を生かした結婚支援活動の推進

離婚経験がある人やひとり親の人など様々な人への結婚に関する相談支援の充実を図るとともに、観光地や商店街等の地域資源を活用した婚活イベントを開催するなど、地域の魅力についても発信していきます。

### Project 3-2 妊産婦・乳幼児が安心できる環境整備

予防接種、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、育児相談のほか、子どもが安心して遊べる場所の整備など、妊娠から出産、子育てまで、切れ目ない支援により親子が安心して健やかに過ごせる環境づくりに努めます。

### Project 3-3 医療費助成など子育て世帯への経済的負担の軽減

子育て家庭がゆとりを持って子育てができ、また、多くの子どもを産み育てたいと感じられるように医療費助成など子育て世帯への経済的負担の軽減に努めます。

## 重点プロジェクト4 関係人口の拡大

都市部から本町への移住促進、また本町出身者の呼び込みに対する取組を進めるとともに、本町が持つ多様な観光資源の更なる魅力を創造し、多様化・個性化するニーズに対応する受け入れ態勢を構築することで、関係人口を増やすとともに将来的な移住者の増加につなげます。

目標値：交流人口：425千人（平成30年）⇒600千人（令和4年）



### Project 4-1 移住・定住のきめ細かな相談窓口の開設

移住・定住コーディネーターを育成し、相談窓口を強化するとともに、就業や起業するための支援や経済的負担の軽減に向けた取組を進めます。また、ふるさと回帰支援センターやプロフェッショナル人材戦略拠点などとの情報共有や連携に努めます。

### Project 4-2 町出身の若者など本町に関心がある人との交流促進

本町と友好都市である昭島市や岩泉町ふるさと会などとの交流や、移住や定住に関心がある人に対する情報提供を図り、本町への観光や自然体験などの来訪を通じ、移住や定住につなげる取組を進めます。また、関係人口の創出・拡大のために、関係人口創出・拡大事業の活用を検討するとともに、二地域居住の促進、空き家の活用、お試し居住プログラム、大学生のインターンシップや地域おこし協力隊制度の活用などの取組を強化します。

### Project 4-3 魅力ある観光拠点づくり

龍泉洞をさらに魅力ある観光拠点として整備を行うとともに、地域に埋もれている潜在的な観光資源の掘り起こし、ジオパーク等の観光資源を活用した広域観光連携を行い、体験型観光やインバウンド観光の展開を図るための情報発信や地域のブランディング化を進めます。

また、廃校施設については、サテライトオフィス<sup>※1</sup>や研究施設など、様々な分野を融合したリノベーション<sup>※2</sup>について調査・研究を進めます。

※1 サテライトオフィス：企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。

※2 リノベーション：既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させ、付加価値を与えること。

## 重点プロジェクト5 産業の強化による働く環境の充実

基幹産業である農林水産業の生産基盤の強化、地域資源の6次産業化やブランド化を進めるとともに、中小企業や第三セクターの支援等による雇用の場の確保に努めます。また、次世代の産業を担う担い手を育成します。

目標値：人口の社会増減：▲46人（平成30年）⇒▲18人（令和4年）



### Project 5-1 安定かつ持続ある生産体制の構築

農林水産業の生産組織の育成と強化を図り、産業の競争力を高めるとともに、創業・事業承継を通じて地域産業の活性化と新陳代謝を図ります。また、未来技術の活用に関する調査研究を進め、生産の効率化や担い手不足の解消等、既存産業が持続安定できる仕組みを検討します。

### Project 5-2 第三セクターを基盤とした地域産業の振興

地域経済を牽引する第三セクターについて、成長発展及びホールディングス化によるシナジー効果を高めるための支援策を重点的に実施します。また、経営課題解決に必要な人材育成と、マッチングを行うための支援や、生産から加工、販売までを行う6次産業化の推進や新商品開発などに対する取組を強化します。

### Project 5-3 各産業分野における担い手の育成

インターンシップ等を通じた若年層の地域での生活・就業体験を促進し、地域企業へのUIターン就職の機会拡大と地元定着を推進するとともに、岩泉高等学校において人材教育として推進している探求型学習プロジェクト（KIZUKIプロジェクト）などへの支援に取り組みます。また、各産業分野における人材育成を推進することにより、仕事に関する理解を深め職場への定着を促進します。

## 重点プロジェクト6 持続する集落形成

自然減や社会減による人口減少は、本町において特に深刻な課題であり、様々な地域活動が困難になることが予想されます。また、平成28年台風第10号豪雨災害による住宅移転により、コミュニティの再構築も必要となっています。このような中で、将来にわたり持続ある地域社会の形成を目指します。

目標値：地域振興協議会数：6団体（令和元年）⇒6団体（令和4年）



### Project 6-1 地域振興協議会を核とした活動支援

地域振興協議会が地域運営組織として機能するように支援し、住民が主体的に活動できる環境を整え、生活サービス機能の集約・確保、防災機能の強化、集落生活圏内外との交通ネットワークを形成し、利便性の高い地域づくりを進めます。

### Project 6-2 高齢化に対応した移動手段確保などの生活支援

地域の公共交通の維持や利用者の利便性の向上を図るため、運賃の軽減策を進めるとともに、事業者との連携・協働を推進し、地域の特性に応じたデマンド交通<sup>※</sup>の構築を検討し、利用しやすい公共交通の確保に努めます。

### Project 6-3 地域防災の環境整備

地域の防災体制の確立・強化を目指すとともに、災害に関する自助・近助・共助の重要性などの啓発や、必要な情報・知識の啓発や防災備蓄の充実などにより住民の防災・減災意識の高揚と安全安心な地域づくりに努めます。

### Project 6-4 地域包括ケアシステムの推進

高齢者一人ひとりの課題に対する支援が充実するよう、地域ぐるみで高齢者を見守り、支えていく体制づくりを進めるとともに、身近な地域における生活支援体制の整備や強化により安心して生活できる環境を整備します。

※ デマンド交通：電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。

## 未来を創る 10 の希望プロジェクト

これまでの課題等をふまえ希望のある事業展開を図るため、次に掲げる10のプロジェクトについて、前期基本計画期間に調査・研究を進めます。

### その1 畑わさびの料理コンクールによるブランド化

#### プロジェクトの背景

- 高い技術力を後継させなければ…
  - 高品質を維持しなければ…
- 岩泉のわさびは衰退する



畑わさび生産  
↓  
**日本一**  
生産者  
↓  
**減少**

#### プロジェクトの展開方法

- 多方面への情報を発信する
  - 飲食店等と連携し地域を元気にする
- 料理コンクールの開催



#### プロジェクトの効果

- 後継者が現れる
  - 観光客が増加する
  - 販路が拡大する
- ↓
- まちが元気になる!



## その2 住宅確保対策事業（若者応援住宅事業）

### プロジェクトの背景

- 20年後の20～30代の人口は約半分に…
- 地元に残ってひとり暮らししたい、移住したいのに…



- 比較的新しい物件は家賃が高いし空きが出ない…
- 家賃の安い町営住宅に独身者は住めない…



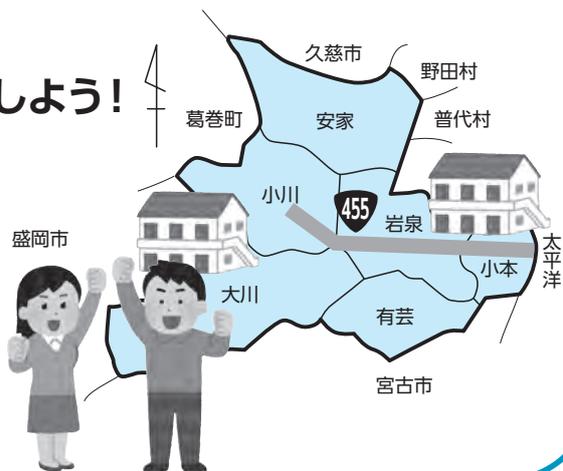
住むところがないから定住につながらない



### プロジェクトの展開方法

若者向けの定住応援住宅を建築しよう！

- 便利なのは国道455号沿線
- 車があるから郊外でも大丈夫！
- 郊外だから家賃を低く設定できる
- 住宅手当がない人は家賃軽減しよう！
- 居住期間を決めれば新しい人が来る！



### プロジェクトの効果

新しい人の流れができる！

UI ターン者の増加



結婚・出産・子育てにつながる！



人口減少に歯止め！

### その3 将来に持続する酪農の郷づくり企画 (後継者定着や新たな就農者を生み出す総合PJ)

#### プロジェクトの背景

##### ■ 6次産業化の発信へ

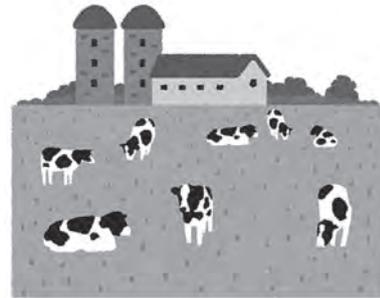
岩泉乳業工場の見学者が増加。加工場は生産現場とも直結している6次産業化の流れをPRすることが必要

##### ■ 一方で生乳生産現場は、戸数・頭数が減少

このままでは生産者が10戸以下(現在27戸)まで減少。生産量も2/3まで減少。経営基盤が弱く、労働負担が大きい。6次産業の取組が黄色信号?

##### ■ 魅力創造は将来への橋渡し

働き方改革も酪農の現場へ。経営効率向上と労働負担軽減は次代につなぐもの



#### プロジェクトの展開方法

##### ■ 郷づくり推進母体の結成(酪農家や関係機関など)

後継者、新規就農者を創出するためには、みんなで知恵を!

##### ■ 個別課題を整理・方向性を作成

キーワードは「持続」「環境」

- 経営基盤再編
- 労働力軽減(機械化など)
- 増頭対策
- 担い手づくり

##### ■ 実施プランの立案、そして役割分担

##### ■ プランの実行

#### プロジェクトの効果

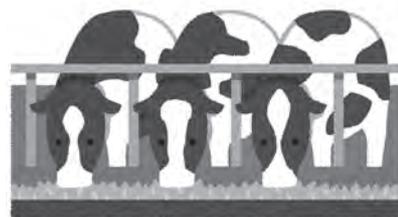
##### ■ 酪農家全員で創造していく意識の形成

##### ■ 生産現場の労働環境の改善・効率化

##### ■ 生乳生産量の持続ある安定へ

##### ■ 魅力ある6次産業を広く宣伝可能

##### ■ 興味ある人材が関係人口として増加



## その4 土地が買えるぞプロジェクト

### プロジェクトの背景

- 岩泉に家を建てて住みたいのに適地が無いので住めない人がいる
- 一方で岩泉に移住をする人は極めて少ない

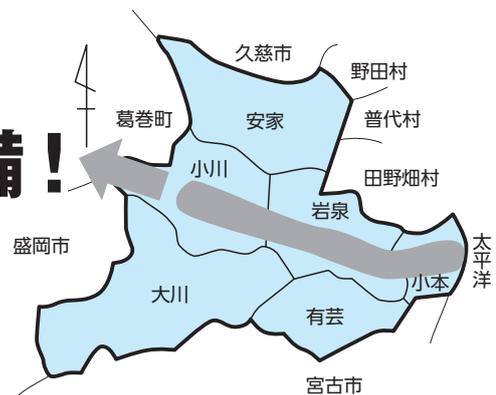


盛岡の方が岩泉より安い売地があるのよねえ。  
岩泉に家を建てたいけど、希望に合う売地が無いわ。

### プロジェクトの展開方法

- ニーズがあるところに用地を確保
- 希望者に安価に販売
- すべての希望者を公平に対応

ここに整備!



### プロジェクトの効果

- 人口減少への歯止め!
- 定住することで経済的な貢献や地域に活力!
- 地元建築業に活力!



## その5 町の住宅、うちでも住めるってよ

### プロジェクトの背景

■町営住宅、町所有の住宅で居住者がいない住宅がある半面、移住者や地域おこし協力隊は、住む場所を探すのに苦慮している

移住してくれって  
いうくせに住む  
場所ないじゃん!

町営住宅条例

■所得が上がると住み慣れた町営住宅から引っ越さなければならない



### プロジェクトの展開方法

■町営住宅のうち、町営住宅条例から外せるものはどんどん外す

■教員住宅も空室はどんどん貸す

■必要であれば補助金返還もする

政策的な料金・入居要件の設定が可能に!

町営住宅条例  
から除外!



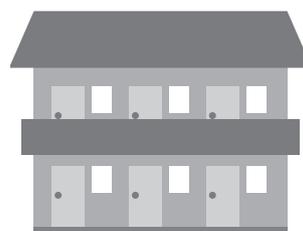
### プロジェクトの効果

■町内に居住する人が増え、町内消費への貢献!

■所得が上がっても住み慣れた環境に住むことが可能に!

■最終的に町内に戸建て住宅を建築するかも!

また同じ場所に住み続けられるね



## その6 ポイント還元でガッチリ

### プロジェクトの背景

#### ■健康診断の受診率が悪い

→病気の予防や早期診断に繋がらない  
脳卒中死亡率全国ワースト1位（岩手県）

#### ■各種イベント等に青年層の参加が少ない

→参加する人が固定化し地域コミュニティの  
活性化に繋がらない

#### ■龍ちゃんカードの認知度が低い

→参加店も増えず町内購買に繋がらない



### プロジェクトの展開方法

#### ■岩泉町スタンプ会と連携（町も加入）

→町も龍ちゃんカードポイント会員に

#### ■町等が企画するプログラムに参加したらポイント付与

→1ポイント500円相当  
健康診断を受診したら、イベントに参加したら、講演会等に参加したら

#### ■龍ちゃんポイントカード満点（60ポイント）

→で町内加盟店で500円相当の買い物が可能

何でもかん  
でもポイン  
トをあげ  
ちゃおう

### プロジェクトの効果

#### ■とにかく人が集まる

#### ■新たなコミュニケーションが誕生

#### ■町内の購買活動が活性化



現代はなんでもポ  
イント還元! とにかく  
ポイントで人を集め  
てガッチリ

## その7 地域で生業の起業化でふるさと創造企画 (一次産業分野はまだまだ魅力の宝庫)

### プロジェクトの背景

- 多くの集落が、大きな節目を迎えている
  - ・この先、高齢者だけの集落になりそうだ…
  - ・人も減ってしまうし、さみしくなる。
  - ・畑や田んぼも耕作できなくなる？どうしよう。
- 全国ではアイデア創造と挑戦で成功事例も
  - ・ある市では集落営農で加工品販売 9000 万円！
- 食は関係人口を増やす魅力をもっている
- 農山漁村の暮らし生き方こそ、これからの魅力



### プロジェクトの展開方法

- モデル的に4か所の地域(又は集落)を選定
  - ・釜津田地区(短角と宿) ・宮本地区(黒ニンニク加工) ・小本愛土館(サケの加工)
  - ・小川及び沢廻地区(いちごと果樹の観光農園)
- 食・文化の魅力による起業化がキーワード
- 今いる人材が魅力と楽しさを創造
  - 地域ごとや集落ごとに考えよう
- 起業化のプラン作成 (外部アドバイザーを入れる)
- モデル地域(集落)には、取組に対して行政支援を創設

### プロジェクトの効果

- 地区の協働化!
  - 外貨を地区内へ!
  - 自信と活気が定住者の増加へ!
- ## 活力ある集落の存続!



## その8 ドローンを活用した観光企画

(自然風景空撮会及び廃校を利用したドローンレース)

### プロジェクトの背景



ドローン市場は  
5年で4倍に ↗



### プロジェクトの展開方法

- 自然風景会
- 土地所有者の承諾を町が支援
- 廃校ドローンレース
- ドローン専門業者の支援により企画開催



### プロジェクトの効果

- 町民が気づきにくい町の魅力が発信
- ドローンを飛行させたい人達の交流人口が増加する
- 観光や商業の振興が図られる



## その9 空き家等を活用したゲストハウスの運営による観光振興

### プロジェクトの背景

#### ■岩泉町の観光

- ・通過型…滞在型の観光施策が求められている  
→通過型の観光となる一つの要因として、若者や外国人観光客向けの安価な料金で利用できる宿泊施設がないことが挙げられるのではないかと。

#### ■魅力的な宿泊施設を！

- ・空き家・空き店舗が増加しており、有効活用すべき→**ゲストハウス**

### プロジェクトの展開方法

#### 1 活用する制度等

- ・運営する人材→地域おこし協力隊
- ・空き家利活用促進事業補助金…町の空き家・空き地バンクに登録しようとする者が行う空き家の家財道具等の処分等の費用について支援（貸す側）
- ・空き店舗利活用事業費補助金…空き店舗を活用する事業者等に対して、改修費用を支援（借りる側）
- ・地域おこし協力隊活動費補助金…隊員の活動に要する経費に対して補助

#### 2 行政の役割

- ・空き家の所有者との交渉
- ・地域住民の承諾、協力依頼

### プロジェクトの効果

#### ■ゲストハウスと体験型観光の組み合わせで滞在型観光へ！

#### ■冬場の観光メニューの構築

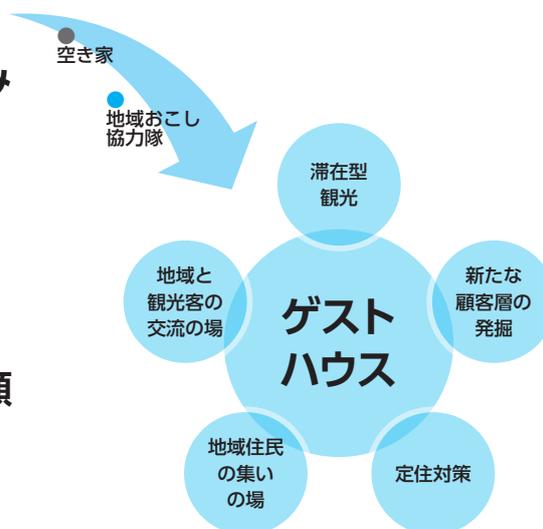
（キッチンを利用した郷土料理の教室など）

#### ■地域と観光の結びつきを強化

＝おもてなしの心の醸成

#### ■既存の宿泊施設にはない新たな顧客層の発掘

#### ■再生可能な空き家を地域資源へ！



## その10 lot セントラルキッチン

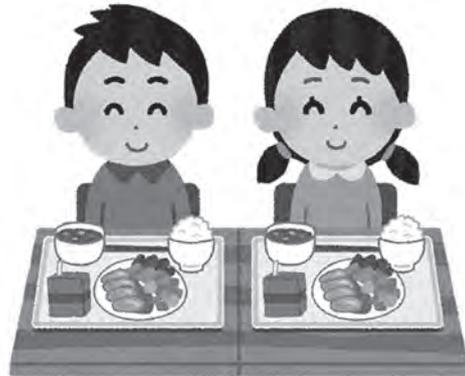
### プロジェクトの背景

- 少子化、長寿命化、学校卒業時の恒常的な転出に伴う労働力の不足が懸念されている
- 一方で、「食事を提供する」同一の工程を行う部分が多い給食センター、こども園、高齢者デイサービスセンターで類似の設備や人材を保有



### プロジェクトの展開方法

- セントラルキッチン方式の給食センターを設置し、給食や弁当などの共通工程を担う
- 既存のこども園、高齢者デイサービスセンターは補完施設とし、町全体の需要に合わせて徐々に縮小
- センターには、最先端の設備を整備し、徹底した省力化を図る



### プロジェクトの効果

- 労働生産性の向上となり、給食センターの労働力を他の必要な場所に再配分!
- 様々な食事提供サービスの選択肢の拡大!

